



Hideto Yasui
(BIGMAMA)
plays
TRB5PII

Kouki Okada
(General Head Mountain)
plays
SG1802

Tetsuya Masuda
(LOST WEEKENDER)
plays
BB2024X

「ヤマハは進化し続けるところがいいと思う。」

「XFのサウンドはパンチがある。」

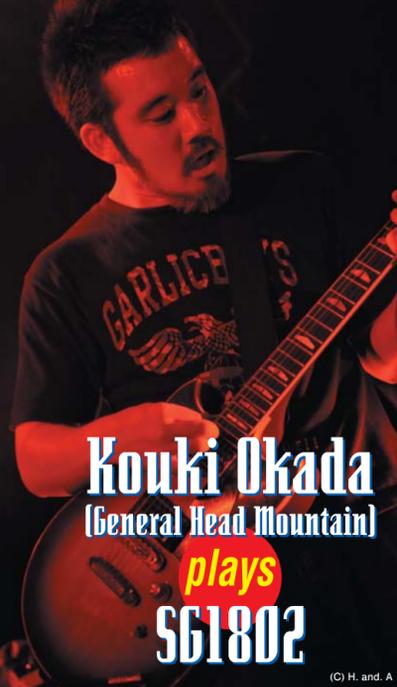
Minoru Mukaiya
Plays
MOTIF XF



Bunta Plays PHX
(TOTALFAT) Series

「PHXのキックの良さは別格!」





Kouki Okada

(General Head Mountain)
plays
SG1802

(C) H. and. A



Hideto Yasui

(BIGMAMA)
plays
TRB5PII



Tetsuya Masuda

(LOST WEEKENDER)
plays
BB2024X

タイトでパワフルなサウンドの3ピースバンド「GENERAL HEAD MOUNTAIN」と「LOST WEEKENDER」、

そしてバイオリンを含むユニークな編成のメロディックパンクバンド「BIGMAMA」。

日本のロックシーンの最前線を走る3つのバンドのキーパーソンであるオカダコウキ (GENERAL HEAD MOUNTAIN, Guitar)、マサダテツヤ (LOST WEEKENDER, Bass)、安井英人 (BIGMAMA, Bass) に愛用のヤマハギター、ベースについて、そしてバンドライブについて語ってもらった。

楽器を始めたキッカケを教えてください。

オカダ:僕は中学校1年の夏、HI-STANDARDに憧れてギターを始めました。最初のギターはヤマハのシフィカでしたよ。

安井:ベースを始めたのは高校一年。僕もHI-STANDARDをコピーしました(笑)。それとRed Hot Chili Peppersとか。その後はMR.BIGのビリー・シーンが好きになって。

マサダ:兄がパンクを聴いていてその影響で最初はギターを始めたんですが「F」で挫折。でもその後地元バンドのライブに行ったらベースに目がいて、じゃあベースをやろうと。それが16、7の時です。

（新しいSGは音の立ち上がりが速い！
ハイのヌケがいいです。(オカダ)

みなさんヤマハの楽器をお使いですが、気に入っている点を教えてください。

オカダ:ここ数年SG2000を使っていて、最近ちょうど新しいSG、「SG1802」に持ち替えたところで。SGは音が太いけど、きめが細やかでサスティンもあり気に入っています。特に新しいSGは音の立ち上がりが速いです。ピックアップがP90なのでクリーンの時に音に伸びがあるし、ハイのヌケがいいので歪んでもコード感が良く出せます。それと本体の凹凸がセクシー！コールドトップなんですけど、ステージでくびれた部分に光が溜まるんです。PVの監督にも褒められました。

安井:ビリー・シーンがヤマハを使っていたので僕もとヤマハは好きでした。「TRB5PII」は5弦で35インチスケールのベースを探して見つけました。ロングスケールのほうが指の感覚にフィットするんです。BIGMAMAはハードな曲もあればソロディオスな曲もあるんですが、いろんな曲調に柔軟に対応できて、しかもサウンドの中に暖かみがあります。

マサダ:僕は新しいBB「BB2024X」を使っています。それまで「こういうベースがあればいいな」って考えていたものがあっただけですけど、BBには僕が欲しいと思っていた要素がほとんど入っていてビックリしました。ピックアップがPJタイプだったり、ナットがプラスチックだったり、弦が裏通しだったり。自分と同じ考えの人がいたんだって驚きました。

（ヤマハは進化し続けるところがいいと思います(マサダ)

ヤマハの楽器には何を望みますか？

マサダ:海外の有名メーカーは伝統を守る方向だけど、ヤマハのギターやベースはどんどん新しい要素を取り入れて進化していますよね。そこがいいと思います。
安井:僕は現状には不満がなく、マサダくんが言うとおり、常に進化して欲しいと思っています。
オカダ:僕はSGを気に入っているから、もっ



とSGをバンドマンに使ってもらいたいですよね。ライブを想定して選んだらSGって絶対いいと思うし、日本の楽器だから日本の風土にもあってるし。

安井:ギターの人って、けっこうロゴで楽器を選んでない？(笑)

オカダ:だからヤマハの楽器を持っている人って本質を見抜いている気がします。「わかってるな〜」って。

（ライブは大切。これからはライブバンドが生き残っていくと思います。(安井)

バンドの楽しさはどんなところにあるのでしょうか。

マサダ:北海道から九州までいろんな場所に行ってライブをして、いろんな人と出会うのが楽しいですね。
オカダ:僕らたちも日本中クルマで移動してます。バンドに移動はつきもので、最近は移動が300kmなら普通。200km圏内だと近くなって(笑)。やっぱりツアーで全国各地に友達とできて楽しいです。彼らに会うために次のツアーをやるって思うくらい。

安井:オカダ君とも打ち上げて仲良くなったんですけど、年代が違って仲良くなる。これはバンドマンの特権だと思います。

やっぱりライブは楽しいですか？

マサダ:ライブ以外は大変なことが多いので、僕はライブは人一倍楽しもうと思っていて、お客さんよりも楽しめます(笑)。

安井:確かにライブは大事ですね。CDもダウンロードの時代だから、これからライブバンドが生き残っていくんじゃないでしょうか。

オカダ:だからアマチュアにとってもライブにチャンスがあると思うんですよ。僕は以前地元の宮崎で月8本とかライブをやってましたが、宮崎にツアーで来たバンドがレコード会社を紹介してくれました。

最後にアマチュアバンドの諸君にアドバイスをお願いします。

オカダ:やっぱり演奏を楽しむのが一番だと思います。音楽で楽しくなければ続けられないし。



安井:一番好きなジャコ・パストリアスが上達の秘訣を聞かれて「プラクティス・プラクティス・プラクティス」と答えているんですけど、練習を大事にしてほしいと思います。

マサダ:とにかくバンドを続けてほしいです。僕自身好きなことを好きにだけ続けてきたし。報われるとは限らないけど、ぜひやり続けてほしいと思います。◆

Instruments



エレキギター
SG1802
メーカー希望小売価格
367,500円(税込)

エレキベース
BB2024X
メーカー希望小売価格
346,500円(税込)

エレキベース
TRB5PII

Information

GENERAL HEAD MOUNTAIN /
バタフライエフェクト 11月17日リリース
GCP-36519 コロムビア
¥2,625 (TAX IN)



BIGMAMA / ROCLASSICK
CD+DVD: RX-039
RX-RECORDS/UK PROJECT
¥2,940 (TAX IN)



LOSTWEEKENDER / OWL
OCL-009
Magnifique
¥1,500 (TAX IN)



Bunta Plays PHX Series

(TOTALFAT)

今年6月9日に発売したニュー・アルバム「OVER DRIVE」をひっさげの全国ツアー「OVER DRIVE tour 2010」がいよいよファイナルを迎えようとしているTOTALFAT。圧倒的なパワーとスピードでTOTALFATのグルーブを支えるドラマーのBuntaに、バンド結成の頃のこと、ドラムのこと、そして愛用のPHXやスネアについて熱く語ってもらった。



（The Offspringのコンサートの夜、TOTALFATが始まった。）

最初にドラムをはじめたキッカケを教えてください。

●中学生の頃バスケットだったんですけど、いきなり先輩に「Arc~en~Cielの楽譜を渡されて「ドラムやれ!!」って強要されて(笑)。それで練習パッド買って来たのがキッカケでした。最初は日本のバンドをコピーしてたけど、高校に入って出会ったベースのShunにThe Offspringのコンサートに誘われて。実はあまりよく知らないままコンサートに行ったら、もの凄く衝撃を受けて。そのライブの夜に「こういう音楽をやろうぜ」ってShunの家で盛り上がり作ったバンドがTOTALFATです。高校一年の時でした。

最初から速いビートを叩いていたんですか。

●高校時代はとにかく速いビートばかり。速ければ速いほどいいという運動部的なノリ(笑)。メタル系のドラマーはツインペダルやツーバスで速いバストラを叩くけど、パンクはシングルペダルで速いバストラを叩く!その男気に惹かれたってのもあります。でも大学に入る頃からスタイルがちよっと変わってきました。

どんな風にドラムスタイルが変わってきたのですか。

●1つはBlink-182というバンドが好きになったんだけど、そのドラマーの影響。パンクなのにジャズやファンクの要素をロックに落とし込んでいてカッコ良かった。それからもう一つは大学のジャズ研のドラマーの入って、新入生歓迎の演奏だったんだけど、逆にジャズなのにロックを感じさせて衝撃的を受けて。その人に近づきたくてジャズ研に入りました。そしたらみんな練習してるんですよ。その先輩がアラン・ドーンの教則本も貸してくれたんだけど「ルーティメントとはドラムにとってエンジンのようなもの」って書いてあったりして、基礎練習が重要だっことを痛感しました。



最近はどうなドラマーに興味がありますか？

●今はゴスペルのドラマーに興味があります。だんだんシンプルでグルーブを出すのが難しいって思いはじめて。ゴスペルドラマーってソロにもグルーブがあるんですよ。ウネリとか。ジャズフュージョンのテクニクとロックのパワーを融合してて凄い。最近研究してます。

（PHXのキックの良さは別格。カッパー・スネアは絶妙な音。）

愛用のPHXについて聴かせてください。

●自分のスタイルとしてシングルペダルで速いビートをやるって決めちゃったのもあって、キックに重さを置いているんですけど、以前のセットはキックが軽かったんで踏み込み過ぎで足に負担がかかってました。あるイベントでPHXを試してみたら相性が良くて。特にキックが良かった。メンバーからも「全然違う」って言

われて。オレ達の音楽はキックに支えられている面もあって、メンバーがやりやすいのはとても重要なんです。で、PHXを使うようになりました。

PHXのキックは具体的にはどんな点がいいですか。

●やっぱり低音が良く出る点で、強く踏まなくてもパワーが出せます。キックのアタックとローがブーストされている感じ。しかも低すぎる帯域はあまり出ないので、音が作りやすい。もともとヤマハのドラムは好きでライブハウスのドラムを使うツアーでもヤマハだと調子がいいことが多かったんですよ。でもPHXは完全に別格ですね。

PHXのタムについてはどう思いますか？

●シェルが厚いので、全体的にいいローがでる感じがします。大きなハコやフェスでやったら、かなりいいよね。遠くまで音を飛ばせる感じ。音が重くて強い。この前フェスの映像を見たら、ドラムの音が良くて驚きました。

スネアはカッパーをお使いと聞きました。

●カッパーで5.5インチのSD6455を使っています。カッパーは金属製のスネアの良さもありながら、木の感じもあって。サイズも5.5インチにしてはローが良く出るので気に入っています。カンカンに張ってリムショットを打つと絶妙な感じなんです。プラスとかスチールとかアルミは多いけど、カッパーを使うってあんまりない値段段もそんなに高くないからみんなに勧めてますよ。

（みんなに影響を与えられるドラマーになりたい。）

今年で10年目を迎えたTOTALFATですが、今後どんなバンド、ドラマーを目指しますか。

●見ている人に影響を与えられるバンドになりたいですね。「学園祭でTOTALFATをコピーするとスターになれる」とか。オレたちも中学や高校時代はMR.BIGやHI-STANDARDをコピーしてたら、今のアマチュアのバンドにコピーしてもらって嬉しいです。彼らなり

の解釈で演奏していて、それを見て「あ、こういう風に聞こえてるんだ」って発見もあるし。ドラマーとしても「この人に憧れてドラムを始めました」という存在になれるといいなと思っています。

最後にプロを目指す若きドラマーへアドバイスをお願いします。

●テクニックを追いかけすぎて「凄いやけどカッコよくないドラマー」が多い気がするんです。この前あるドラマーのクリニックに行ったんですけど、みんな手もどばかり見えて全然つまんでないんですよ。いいグルーブの中にあるからカッコいいフレーズなのにコマ送りで聴いている感じで。音楽はグルーブに乗っかって演奏するものなので、そこを意識するだけでずいぶん変わるとも思います。もちろん練習は大事で、基礎練習は絶対した方がいい。たとえば逆スタートの練習とかね。右スタートであるフレーズが叩いたら、全部左スタートでもやってみる。パレードで左右を交換していくパターンはトレーニングがあるけどオススメです。◆



Instruments



システムドラム
PHXシリーズ
バッドラム [PHXB2418MR X2]
フロアタム [PHXF1615M]
フロアタム [PHXF1413M]
タムタム [PHXT1310M]
タムタム [PHXT1209M]

メーカー希望小売価格 609,000円(税込)
メーカー希望小売価格 194,250円(税込)
メーカー希望小売価格 175,350円(税込)
メーカー希望小売価格 154,350円(税込)
メーカー希望小売価格 141,750円(税込)
シェル合計:1,214,000円(税込)

写真のシンバル、ハイハット、スタンド、スツール、スネアドラムは含まれません。



スネアドラム
SD6455
メーカー希望小売価格
48,300円(税込)

Information



TOTALFAT Official WEBSITE
<http://www.totalfat.net/>



TOTALFAT /
OVERDRIVE
KSCL-1589
Ki/oon Records
¥2,625 (TAX IN)



Minoru Mukaiya

Plays

MOTIF XF

日本を代表するフュージョンバンド「カシオペア」のキーボーディスト向谷 実。シンセプレイヤーとして最も影響力があるシンセ界のマエストロに、新しいMOTIF XFについて、そしてtwitter、USTREAMなどを駆使し、ソーシャルメディアの力を最大限に活用した新しい音楽制作、音楽配信のスタイルで話題を集めている「向谷倶楽部」について語っていただいた。

最初にMOTIF XFの印象を聞かせてください。

●ピアノタッチのMOTIF XF8をメインで使っています。最近ではピアノ系だけでなくいわゆるシンセサウンドもピアノタッチで弾くのが好きになってきました。たとえばオルガン。本来は軽い鍵盤の楽器だけど、それをピアノタッチで弾くのが最近面白い。「ピアノオルガン奏法」みたいな感じ? 弾きづらから掻きむしるように弾くだけそこがいい。それからMOTIF XF6や7はイベントでもよく使ってます。内蔵されている音がいいから、シーケンサーを立ち上げてその場で曲を作るような時に使い勝手がいいので。

XFに進化して具体的に良くなった点は?

●前より出音のローがよく出るようになって音にパンチがあると思います。コンが強いというか、特にアナログシンセ系で重厚にいきたい時にいいよね。それからピアノの音もかなり良くなった。波形をたくさん積んでるからだと思うけど。

XFならではの新しい向谷サウンドは?

●かなり突っ込んでエディットできるようになったので現在構築中です。僕のサウンドの基本パターンは決まっています。普通のアコピ、強めのアコピ、アコピ+エレピ、クラベネット系のサウンド。これらにレイヤーでストリングスやパッド系の音色を重ねてペダルでコントロールします。レイヤーは音の厚みや余韻を作るためのもの。音色の掛け合わせでサウンド作ると、出音にエフェクトをかけるよりいろんなことができて、音も太くなります。

MOTIF XFは熟成と充実の進化。ビールなら「プレミアム」だね。

レイヤーが向谷サウンドの秘密ですか?

●そうですね。レイヤーするためにTX816を使っていた時代は16モジュール使っていました(笑)。XFはDSPパワーもポリ数も圧倒的なので1台で十分。いい時代になったよね! プリセットって、すごく綺麗で素晴らしいんだけど、バンドだと若干物足りない時がある。MOTIFに限らないけど良さ過ぎて良くないみたいな。で、そこから先が腕の見せ所。EQやフィルター、レイヤーなどを使って好みの音を作ってみてほしいんです。ドラムが入ったバンドなんかだと、歪んだ音のほうがかえってイキイキするってことは山ほどあります。例えば僕の場合レイヤーで細かい破片みたいな音を聞かせるかどうかギリギリの音量で鳴らしたりしてます。みなさんもぜひプリセットの「いい音」を素材に料理して自分の音を作ってください。

ずばりMOTIF XFのオススメのポイントは?

●これは熟成と充実の進化だね。ビールだと「プレミアム」って感じ? 内部のマイナーチェンジ、たとえばパーツを変えたことで音が太くなったし、波形も増えてます。そのあたりも時間が許す限り店頭で試してみてください。1番だけでなく9番目あたりにも面白いパターンが増えてます。

向谷倶楽部で音楽制作の可視化と産地直送を実現。

ところで「向谷倶楽部」が盛り上がっていますね。

●いわば課外活動なんだけど、始めたのは今年の4月から。最初はtwitterとUSTREAMを使ってフォロワーにお題をもらってその場で作曲するっていう「弾き捨て」をやってたんです。そうしたらtwitterのタイムラインに中西圭三くんが現れて、それで一緒にやろうって呼びかけてはじまったのが「向谷実×中西圭三プロジェクト」。USTREAMとTwitterを駆使して作曲、歌詞募集、デモテープ制作、そして本番のコーディングも動画配信し、できあがった曲をiTunes Storeなどで28時間後に配信しました。つま



り音楽の産地直送をやったプロジェクトなんです。iTunes StoreではJ-POP部門で最高位8位までいって、これはちょっとすごいことになったなと。向谷倶楽部ではどんなことを目指しているのでしょうか。

●「制作現場の可視化」と「産地直送型音楽配信」です。向谷倶楽部では作曲、プリプロ、本番コーディングまで制作状況をすべて、USTREAMで流して可視化してます。その間フォロワーとリアルタイムでやりとりしますが、これが今までにない一体感で、いっしょに音楽を作っている感覚。「タイムラインは宝の山」って言うてるんだけど、本当にいろんなアイデアが出る。しかも凄くアクセス数で、音楽が生まれる現場を可視化するとこんなに喜んでくれるということがわかりました。

まさにネット時代ならではの新しい音楽制作の方法ですね。

●新しい音楽の作り方や楽しみ方を考えていこうという活動でもあります。「可視化」と「産地直送」のためには、著作権や著作権隣接権についてもちゃんと管理しなくちゃいけないので、向谷倶楽部

ではルールを作って自主管理という形で著作権、著作権隣接権を管理しています。実際問題まだルールが整備されていないジャンルなので、だったら先陣を切ってやっつけよう。今やっているのが「めざせ!100万DLプロジェクト」。中嶋ユキノちゃんというシンガーソングライターの曲のプリプロが終わったところですが、100万ダウンロードを狙ってるんです。そういう曲を持つことで既成事実を作り世の中で無視できない存在感を出して、多くのミュージシャンに参加してもらいたいと思っています。

アコースティックもデジタルも使った新しい音楽が聴きたい。

今後の活動について教えてください。

●向谷倶楽部では、まず「めざせ!100万DLプロジェクト!」の中嶋ユキノちゃんの本番コーディングを近々やろうと思っています。もちろんコーディングしたらすぐに配信します。あと声をかけていただければどこでもライブしたいと思っています。そのコンサートの中で曲作りもやっちゃおうかと。「出張向谷倶楽

部」にて音楽が生まれる現場をより多くの人にライブで見てもらいたいと思っています。

最後に読者へのメッセージをお願いします。

●若い人たちは僕らが想像もつかないような音楽を作ってほしいんですよ。カシオペアが世に出た時なんて「なんじゃこりゃ」って、誰も想像してない音楽だったと思うんですよ。できればアコースティックもデジタルも両方使ってほしいですね。期待しています。



Instruments

NEW

NEW

NEW

Information

向谷 実×中西圭三プロジェクトの「Twilight Stream」と「21st Love Express」。iTunes Music Store (iTMS) で購入可能

向谷実WEBSITE / 向谷実の鉄道と音楽がいっぱい
http://mukaiya.cocolog-nifty.com/mukaiya/

アーティストのバックステージ情報満載! ARTブログ "BACKSTAGE" 開設!

楽器、機材を通してLM(軽音楽)系のプロアーティストをサポートしているアーティストリレーション拠点「ヤマハART」が公式ブログを開発しました。ライブやレコーディング、リハーサルなどのプロの現場から、ここだけで見られないスペシャルな情報を発信します。ぜひチェックしてみてください!